

Ⅶ. 研修の評価方法

Ⅶ. 研修の評価方法

1. オンライン臨床教育評価システムによる評価と記録

大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）を介し、オンライン研修評価システム（EPOC）を利用し、研修医評価（自己評価、指導状況の評価、研修環境の評価、プログラムの評価）及び指導医による研修医への評価を行なうシステムを利用する。（厚生労働省施行令に準拠）

また、EPOCによる評価の記録は、永久保存される。

- ・ UMINのURL：<https://www.umin.ac.jp/>
- ・ PG-EPOCのURL：<http://epoc2.umin.ac.jp/>

2. 研修医評価票による評価

各診療科終了時に、指導医を始めとする医師及び医師以外の医療職が、研修医評価票Ⅰ（「A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価）（様式18）、研修医評価票Ⅱ（「B. 資質・能力」に関する評価）（様式19）、研修医評価票Ⅲ（「C. 基本的診療業務」に関する評価）（様式20）を用いて、到達目標の達成度を評価する。2年間の研修期間の終了に際し、各診療科ごとの評価を基に、プログラム責任者による「臨床研修の目標の達成度判定票」（様式21）を用いて最終評価を行ない、研修管理委員会にて研修の修了認定の可否についての評価を行なう。

3. 研修医手帳による評価

研修期間中に記したメモや気付いた点、学んだ点等を指導医に報告し、評価を行なう。

4. その他及び提出物等による評価

- ・ 研修を行なった全ての診療科のレポートの提出状況（CPCレポート、外科症例レポートも必須）
- ・ 病院発行の診断書
- ・ 死亡診断書 / 死体検案書
- ・ その他の証明書（生命保険 / 傷病手当など）
- ・ 紹介状
- ・ 紹介状への返書
- ・ 院内ACLSの受講証のコピー
- ・ 院内症例検討会での発表内容と抄録のコピー
- ・ 学会、研究会等での発表内容と抄録のコピー
- ・ 院内勉強会や院内 / 院外カンファレンス等への参加記録等
- ・ インシデント / アクシデント・レポートの提出記録
- ・ 当直（副直）回数の実績状況
- ・ その他、修了認定の可否に必要と認められる書類 等